

一般入学試験

(保健学専攻、健康科学専攻、社会福祉学専攻、医療情報・経営管理学専攻)

採点・評価基準	各専攻のアドミッション・ポリシー (AP) に基づき、出願データ評価、事前提出課題評価、面接試験の結果を総合的に評価し、可否を判定する。 ●評価項目と関連するアドミッション・ポリシー (AP) <u>出願データ評価</u> 【学業成績】知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価 対応する AP : 「科学的知識と技能を学び続ける力」 「問題を解決する力」 【業績 (研究活動・社会活動・職歴等)】主体性・多様性・協働性を評価 対応する AP : 「チームワークとリーダーシップを発揮する力」 「対象者を支援する力」 【志望理由】思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価 対応する AP : 「自己実現を達成する力」 <u>事前提出課題</u> 知識・技能、思考力・判断力・表現力、英語力を評価 対応する AP : 「科学的知識と技能を学び続ける力」 「問題を解決する力」 <u>面接試験評価</u> 知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価 対応する AP : 「科学的知識と技能を学び続ける力」 「チームワークとリーダーシップを発揮する力」 「対象者を支援する力」 「問題を解決する力」 「自己実現を達成する力」
可否判定基準	出願データ評価、事前提出課題評価、面接試験の合計点上位から順位付けを行い、総合的に判定する。 同点者の取り扱い 合格点に達した、同一順位者が複数いる場合は、すべて合格とする。